

八千代西高校に対するご意見

番号	日付	生徒にとって望ましい学びの環境とは。	生徒にとって活力のある教育活動を維持するためにはどうすればよいか。	1で回答した高等学校に関して記述してください。（自由回答）	備考
1	2024/6/27	・安心安全な学校 ・施設が充実している ・生徒同士や生徒と教職員とに信頼関係がある ・誰一人取り残されないように学びが保障された環境 ・成長の実感が感じられる機会(授業や学校行事)や選択肢(部活動や同好会など)が多いこと。	・教員の資質向上・意識改革 ・授業力を向上させることにより、授業が楽しくなる ・行事や部活動等の充実 ・生徒の主体的な活動を活性化させる ・生徒の活躍の場を設定する ・少人数クラスでの授業や、能力別クラスでの授業	・他の高校と統合することで、何かに特化したコースの開設や、ICT 機器などの設備が充実した、魅力ある学校にできれば良いと思います。 ・仮に統廃合を行ったとしても、現在行っている「学び直し」や「少人数学習」を継続してほしいと思います。 ・多様な生徒たちであふれているが、生徒たちはそういう生徒を排除せず、受け入れている。他の学校では見られない、いい学校である。	第1回フォーラム
2	2024/6/27	・いじめや暴力等がなく、生徒が安心して授業や部活に取り組むことができる環境 ・生徒一人一人のニーズに対応した学び、特に中学校までの学び直しのできる環境 ・単に部活動を増やすのではなく、近隣地域で行われている同好会やクラブチームなどとの連携を行うことも大事ではないかと考える。	・十分な職員の配置 ・十分な教材や教具、施設のための予算配当 ・より優秀な人が志望したくなるような環境づくりも重要ではないかと考える。 ・集団を形成する時と個を大切する時を大切に。少人数はありがたいが、一定数は確保したい。	・今までの先生方の生徒指導があったため、落ち着いた環境である。ウェイトリフティング部の継続のためにも学校を残してほしい。 ・統合と廃校は全然違うと思う。どっちかわからないと意見が言いづらい。統合であるなら、八千代西の校舎を使用してほしい。 ・入学して手厚い指導で学びを諦めない子どもがいることは、事実。子どもが減少する中、公立高校が魅力ある学校になるためには改善改革が必要だと思います。	第1回フォーラム
3	2024/6/27	・能力に応じた学びとそれが社会に生かされることを実感できる環境。かつこいい通信制高校もいい。 ・施設や設備、教職員などハード面とソフト面を整える。最上階の特別教室にエアコンがなかったり(もしくは故障中?)ICT機器がそろっていなかったりしているのが現状。経済的な負担をかけられない保護者にICT機器を購入させるのも負担である。	・教員のなり手不足から来る不利益は、最終的に子供たちに降りかかる。しかし、労働環境に見合った対価や支援が無ければ、どんなに人手不足だったとしても行こうとは思わないだろう。 ・毎日楽しそうに働く姿を見せることで、子供たちの手本となれるような、子供たちに未来への希望を背中でするような教員を一人でも多く増やすことが、活力ある教育活動を維持するためには必要なのではないかと考える。	・船橋市内に在る県立高校が近年、定員割れを起こしている中、八千代西高も生徒を集めるのに苦労が必要な学校になっていった。校舎や校庭など恵まれたハード面での有効な活用があってもいいと思います。 ・この地域は生徒数がものすごく増えている。また、中学校も含めて、学力の高い地域になりつつある。人口の動きは、他の地区とは違う状況なのではないか。	第1回フォーラム
4	2024/6/27	・八千代西高校へ進学する生徒には、学力が十分に備わっていない生徒、特別な支援を要する生徒、外国籍の生徒等、多様な生徒が多くいます。そのような生徒たちが安心して学習に取り組めるための人的余裕のある環境の整備が不可欠だと思います。	・大学の先生を招聘したり地域で異校種交流したり、開かれた学校づくり委員会を行ったりと教育活動の幅を広げたり地域に周知したりする活動を努力している印象がある。そのような活動を続け、地域に根付くことで生徒の活力や自信につながっていくと思う ・高校生時代にしかできない事はたくさんあります。現在の西高校の部活動加入率は3割と聞いています。思いっきり高校生活を充実できる経済的援助も必要ではないかと考えます。	・日本は1学級当たりの生徒数が多い。少なれば少ないほどきめ細かく授業ができる。100年先を見越して、財政的負担をしてでも少人数で展開したほうがよい。 ・本校の生徒は支援が必要な生徒、外国籍の生徒など、多様な生徒が在籍している。多様性を教育庁はうたっているが、一律に40人が適正規模なのだろうか。多様な学び、多様性を求めているが、やっていることは矛盾しているのではないかと。	第1回フォーラム
5	2024/6/27		・課題として部活動の低迷は見られている。家庭環境の厳しい生徒たちが家計を支えるために部活動よりもアルバイトを優先する傾向が見られ、それにより部活動という活力を失うことになっている。一方で個人種目で参加できる陸上競技やウエイトリフティングでは高成績を残しており、優秀な指導者がいても団体種目で結果がないことになっているのであろう	・本校、生徒が非常に落ち着いてきている。学力は低い、その中で苦勞して、いろんな活動をして、一生懸命取り組んでいる姿がある。部活動が盛んで、どちらかというと、一昔前の八千代西高校に戻ってきている。外から見ると八千代西と、中からみると八千代西は全然印象が違う。	第1回フォーラム
6	2024/6/27	・県の設定する都市部の適正規模になるよう統廃合が行われたとき、きめ細かな指導が行われるのか心配です。八千代西高には、この学校に入学したことで、学ぶことができて生徒がたくさんいるのではないかと思います。これらの実態をしっかり把握していただき、それを担保できるよう仕組みをつくれることを切に求めます。	・説明では、小規模校においては、活力ある教育活動ができないと言っているようにも聞こえました。運営上効率的な適正規模はあると思いますが、教育課程の工夫によっていくらでも活性化は可能だと思います。それより問題なのは、八千代西高校を積極的に選択した訳ではないというような、ネガティブな意識ではないでしょうか。そういった意識があるとすれば、解消していくべきだと思います。地域連携アクティブスクールのように、学校に別の価値観を持たせて効果を上げた例もあることから、今の八千代西高のニーズをしっかりと検証して、それを学校の特徴とするようなあり方を考えてはどうかと思います。	・経済的にも学力的にも厳しい。それでも素直でまじめな生徒の受け皿となっている現状があり、本校もありがたく思っている。今後の存続がどうなるにせよ、学びたい気持ち、高校生活を充実させたい気持ち、学び直しやいろいろな体験を通して自信をもって未来を拓いていけるような高校は存続させてほしい。	第1回フォーラム
7	2024/8/2	・八千代西高は学力が充分でない生徒を中心に授業を行っていた学校であったが、その魅力は学びあいの授業であり、誰一人取り残すことのない授業でもあった。地域の中学校と授業交流を図りながら、学びあいそして少人数での授業を並行して行うことにより、授業中に寝ている生徒など居なかった。八千代西高は近隣他校とくらべ献身的で温かい教師集団が伝統的に形成されていった感がある。伸び伸びと挨拶がよい風土はこの様な生徒を取りまく環境のたまものであると思う。		・「母校がなくなる」「地域の学校がなくなる」といった感情的な理由で、現状維持を求めるような議論をしている状況ではないと思います。しかし、学校の統廃合では、この感情的な理由が最も大きな障害になるというのも事実です。これを克服する最も有効な手立ては、統合によってできる学校に対して、みんなが夢を持てることではないでしょうか。母校の名がなくなることは寂しいことですが、統合校が誇れる学校になるのであれば、違ってくると思います。生徒が集まらないから、「同じような学校と統合します。」とか「隣の学校に吸収されます。」といったときに学校のアイデンティティが失われると感じてしまうのではないのでしょうか。「新」八千代西高にどのような意味付けをするのが大切だと思います。	八千代市中学校長会

八千代西高校に対するご意見

番号	日付	生徒にとって望ましい学びの環境とは。	生徒にとって活力のある教育活動を維持するためにはどうすればよいか。	1で回答した高等学校に関して記述してください。（自由回答）	備考
8	2024/8/2			・八千代市にある県立高等学校の三校で、とても特徴的だと感じられることをお伝えできたらと思います。 私は2022年度11月に「教育スポーツアカデミー」主催による「朗読劇と音楽の集い」が八千代市立勝田台小学校で開催された際、裏方として参加いたしました。 この時、県立八千代高校、県立八千代東高校、県立八千代西高校の生徒のみなさんがそれぞれ参加し、朗読劇を上演いたしました。発表内容はどの学校も大変素晴らしい、地域の方々や教育関係者から沢山の称賛の声を集めておりました。後に参加された生徒達の感想文も読ませていただきましたが、練習してきたことを十分発揮することが出来て、素敵な体験することが出来て幸せでした。という内容がほとんどです。 この三校の生徒達と、場当たり(リハーサル)から撤収まで関わってみて、一番優れた活動を行っていた学校は県立八千代西高校のみなさんです。挨拶や気配り、機転をきかせた動きは他校と一線を画しておりました。ここには、指導者である教師の姿勢が大きく影響していると思います。教師の丁寧な指導によって大勢の観衆の前でこんなに輝かせることが出来ると知った時に、県立八千代西高校の先生方への尊敬と感動を抱きました。もちろん学力的に優秀な学校の生徒達は、自立的に活動しており、あえて大人の手が大きく携わっていなくとも立派に活動できておりました。これはこれで大変素晴らしいと思います。要は発達段階に応じて指導の内容が変わることは必然であり、このことが「1. 生徒にとって望ましい学びの環境とは。」2. 生徒にとって活力ある教育活動を維持するためにはどうすればよいか。」の私が感じるところの解答です。	八千代市中学校長会
9	2024/8/29			・学習面に課題を抱える生徒の受け皿となっている学校である。また、私立高校の併願確約が無くなる傾向が進んでいる中で、経済的にも学力的にも、この学校があるから救われている実態がある。	Forms
10	2025/1/16	・都市部における県立高校としての相応の規模を有しており、定員を充足していることだと思います。	・情報発信や地域との連携など、高校からの不断の働きかけ(企業努力)で、中学生や保護者、中学校の先生方、地域の方々に理解され、支持されることに尽きると思います。	・現状のままでは改善の見込みは立たないと思われる。統合により、一定の規模を有し、例えば、昼間定時制など、新しいコンセプトの県立高校として生まれ変わることが求められていると思います。	Forms
11	2025/3/21	・安定的に学べる環境であること。今回のような、統廃合などの話がでることは在校生にはマイナス面もある。ちゃんと続けられる環境であること、今の八千代西高等学校は、地域社会からも廃校だという意識が強く、通学させる保護者側に立つと子供たちの学びの環境としては大変不安でしかない。そのことから望ましい環境とはその逆であると思います。 話し合いの場に立ち会いましたが、教職員が統廃合に反発していることも理解できることや、グレーゾーンである子供たちを救い上げる学校が必要であると思っています。	・過去にあるような偏差値で測ることも大事かもしれないが、今後の社会構造の変化もあることから、学力重視から、社会での学びを増やすこと、自己肯定感などを育てないと成人してから就職などで苦労していくと思う。以前に委員の際に資格取得を目的としたボランティアをすると校長に提案をしたが、取り入れられず残念だった。そのことから、維持するにも生徒に求めるだけでなく、まずは学校長などの考え方と理解も必要だと思う。西高の場合は学力も低下していることや、学習が満足にできない家庭環境であることなどから、学校外の力を借りる必要があったが、これまで積極的に学校側が動いたようにみえない。	・高校無償化もあり私立への意思が強くなっていること、八千代西高等学校は、前に述べた通り統廃合で廃止されることを希望したと取られる書き込みや報告書、それによる噂が出回っていること、地元の中学校の先生も、あそこは廃校になるからと話をしまっている現状では、出願は低下することになる。逆に県教委については、情報を常に公開していくことがいいと思いますし、学校・教育委員会・県と同じ方向に向いていくようにしていくべきかと思います。現状、地元の中学校で不登校のお子さんが70名ほどいると聞いています。それらの子供たちを受け入れる学校が必要となってきます。公立がそれらの対応を放棄することは許されないとします。それらの子供たちをどうしていくのか?を県もしっかり考えてほしいと思っています。以前、子供たちは駅前のボランティア活動をしていて、よくやっていると思っています。子供たちは手をかけないと難しいと思いますので、県でしっかりとっていくのか?放棄して民間のリーススクールにシフトするのかも含めてグランドデザインをしっかりと組み立ててほしいです。	Forms